

⑤上面をこてで均す

⑥スランプコーンを垂直引上げ

図 2.3.6 スランプ試験の手順のイメージ例

7) スランプの測定は、スランプゲージを用いて行い、**写真 2.3.5** に示すゲージの上部位置の値を 0.5cm 単位で読み取ります。読み取り位置を誤らないように注意してください。

小数点以下は、二捨三入、七捨八入とします。

例) 18.3cm → 18.5cm, 18.7cm → 18.5cm

18.2cm → 18.0cm, 18.8cm → 19.0cm

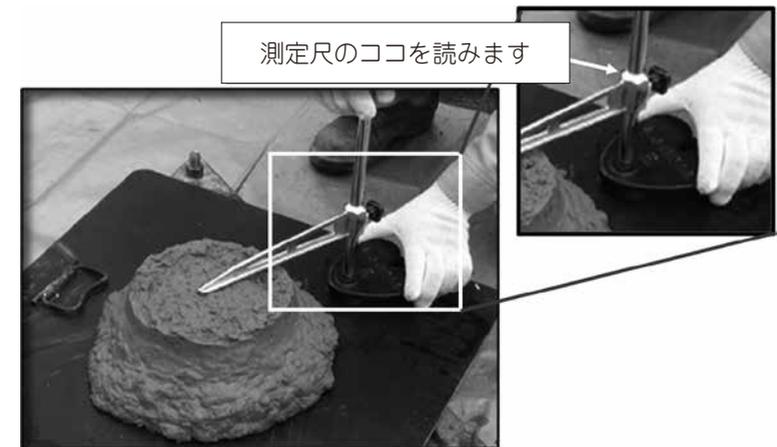


写真 2.3.5 スランプ試験結果の読み取り位置

荷卸し地点における受入検査では、試料採取のばらつきや試験誤差があるため、許容差を外れた場合でも、同一の運搬車から別の試料を採取して 1 回に限り再試験を行い、前回の試験結果と併せて判断することができることが JASS 5 の 11 節（品質管理および検査）の解説に記されています。

②試験に用いる器具

スランプ試験に用いる測定器具は、1)～8)に示すものとし、主なものを図 2.3.7 に例示します。

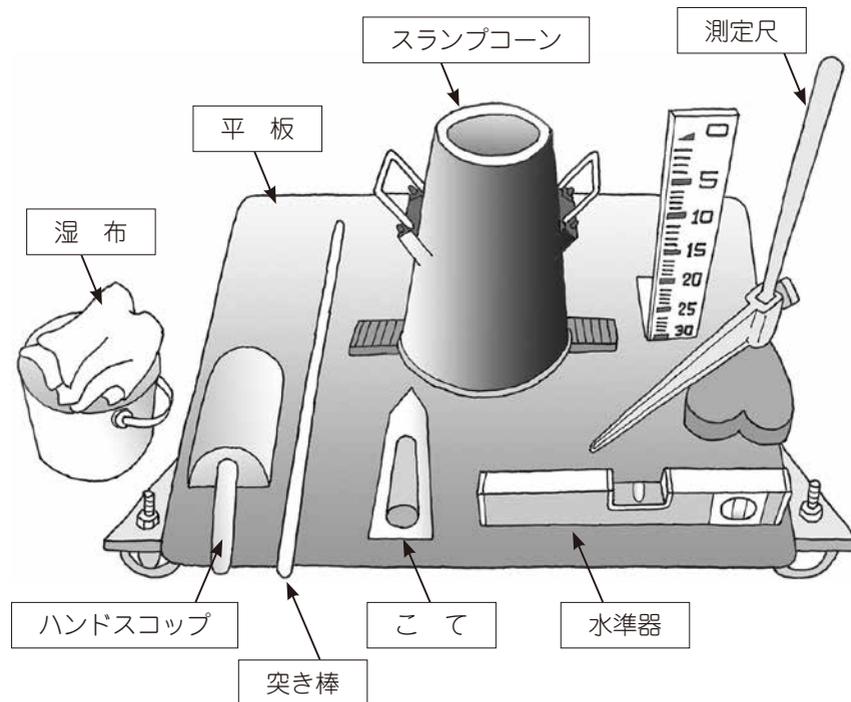


図 2.3.7 スランプ試験に用いる器具の例

- 1) 平板（十分な水密性および剛性を持つ鋼などの金属製）
 ※ JIS に寸法の規定はないが、一般的に市販されているスランプ試験用平板は、600 × 600 × 厚さ 3 mm 以上のものが多い。
 近年はステンレス製、アルミ製のものなどがある。
- 2) 水準器
- 3) スランプコーン
 （寸法上端内径 100mm, 下端内径 200mm, 高さ 300mm）
- 4) 突き棒
 （直径 16mm, 長さ 500 ～ 600mm の鋼などの金属製丸棒）
- 5) ハンドスコップ
- 6) 測定尺（ゲージ）
- 7) こて
- 8) 湿布など